

## 履修モデル

### 生物保護学分野で研究・開発職をめざす

学生は、栽培植物生産学、遺伝学、生物保護学、生物資源経済学のいずれかの分野を中心に学びます。講義科目としては、栽培植物生産学分野には作物生産学特論、作物生理学特論、園芸生産学特論、園芸生理学特論が、遺伝学分野には分子育種学特論、植物分子遺伝学特論が、生物保護学分野には昆虫学特論、植物病理学特論が、生物資源経済学分野には生物生産経営学特論、生物資源経済学特論が配置されています。ここに示すのは、生物保護学分野を中心に学ぶことによって、深い専門的学識と洞察力を身に付け、農業に関する研究・開発や行政の分野での活躍をめざす人ための履修モデルです。

○：選択科目      ●：選択必修科目      ●：必修科目

専修分野	授業科目
栽培植物生産学	○作物生理学特論 ○園芸生理学特論
遺伝学	○分子育種学特論 ○植物分子遺伝学特論
生物保護学	●昆虫学特論 ●植物病理学特論 ●生物保護学特別演習 ●生物保護学特別実験
共通科目	●農学特別演習 I・II ●科学倫理 ○学術英語 I・II ○特別プレゼンテーション ○アドバンスト・インターンシップ

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※記載された科目のみでは修了要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

分子化学分野で研究・開発職をめざす

学生は、生命科学、食品科学、分子化学、生物制御科学のいずれかの分野を中心に学びます。講義科目としては、生命科学分野には分子微生物学特論、生化学特論、分子細胞生物学特論が、食品科学分野には、食品栄養科学特論Ⅰ・Ⅱ、食品製造科学特論、食品機能学特論が、分子化学分野には、物理化学特論、有機化学特論、分析化学特論が、生物制御科学分野には、生物制御科学特論Ⅰ・Ⅱが配置されています。ここに示すのは、分子化学分野を中心に学ぶことによって、深い専門的学識と洞察力を身に付け、公的機関や民間企業等で食品・医薬品・化粧品等の研究・開発をめざす人のための履修モデルです。

○：選択科目      ●：選択必修科目      ●：必修科目

専修分野	授業科目
生命科学	○分子微生物学特論 ○生化学特論
食品科学	○食品栄養科学特論Ⅰ ○食品機能学特論
分子化学	●物理化学特論 ●有機化学特論 ●分析化学特論 ●分子化学特別演習 ●分子化学特別実験
共通科目	●農学特別演習Ⅰ・Ⅱ ●科学倫理 ○学術英語Ⅰ・Ⅱ ○特別プレゼンテーション ○アドバンスト・インターンシップ

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※記載された科目のみでは修了要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

環境修復・応答学分野で研究・開発をめざす

学生は、環境生物学、物質動態学、環境修復・応答学、ランドスケープ・デザイン学のいずれかの分野を中心に学びます。講義科目としては、環境生物学分野には植物保全生態学特論、動物保全生態学特論、環境生理学特論が、物質動態学分野には、養分動態学特論、土壌学特論、環境汚染科学特論が、環境修復・応答学分野には、地球環境修復学特論、植物環境応答学特論が、ランドスケープ・デザイン学分野には、ランドスケープ・デザイン学特論、緑地学特論が配置されています。ここに示すのは、環境修復・応答学分野を中心に学ぶことによって、深い専門的学識と洞察力を身に付け、生物環境の評価・保全・創造に関する研究・開発をめざす人のための履修モデルです。

○：選択科目      ●：選択必修科目      ●：必修科目

専修分野	授業科目
環境生物学	○植物保全生態学特論 ○動物保全生態学特論
物質動態学	○土壌学特論 ○養分動態学特論
環境修復・応答学	●地球環境修復学特論 ●植物環境応答学特論 ●環境修復・応答学特別演習 ●環境修復・応答学特別実験
共通科目	●農学特別演習Ⅰ・Ⅱ ●科学倫理 ○学術英語Ⅰ・Ⅱ ○特別プレゼンテーション ○アドバンスト・インターンシップ

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※記載された科目のみでは修了要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。